

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年4月6日

【評価実施概要】

事業所番号	0172900656		
法人名	特定非営利活動法人 こうえい会		
事業所名	グループホーム こうえい愛宕館		
所在地	北海道旭川市豊岡8条7丁目3番2号 (電話) 0166-37-4611		
評価機関名	タンジント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年3月24日	評価確定日	平成21年4月23日

【情報提供票より】(平成21年3月12日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)13年4月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	18人	常勤	18人, 非常勤 人, 常勤換算 10.4人

(2) 建物概要

建物構造	愛宕館 木造亜鉛メッキ銅版葺 造り	ひかり館 鉄骨亜鉛メッキ銅版葺 造り
	1階建ての	~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000円	その他の経費(月額)	17,000~22,000円
敷金	(有) 50,000円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有) 50,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / (無)
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,350円		

(4) 利用者の概要(3月12日現在)

利用者人数	17名	男性	3名	女性	14名
要介護1	3名	要介護2	4名		
要介護3	2名	要介護4	6名		
要介護5	2名	要支援2			
年齢	平均 82.8歳	最低	58歳	最高	98歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	国本病院 忠和CL 橋爪CL リハビリテーション医院
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

このホームは無条件の愛を基本にし、『ありのままを知り受け入れる、その人らしく生きる、喜びの実現』を基本理念として、入居者本位の生活が実現できるように支援しています。町内会の行事や活動での花壇の花植え・盆踊り、廃品回収、町内清掃活動などに参加して、地域の中での役割ごとが出来ることで自信や楽しみ、生きがいを持てるように支援しています。また、散歩の際の挨拶や交流、近所の喫茶店やお店などを積極的に利用して地域との交流を図っています。運営者は外部の研修会への参加は基よりホーム内での研修会や管理者へのコーチングの実践研修を実施しており、段階に応じた研修や勉強会に取り組んでいます。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題は、地域に向けた認知症の理解をして貰う取り組みでしたが、認知症の研修会やキャラバンメイトの講師として地域に認知症を理解して頂く取り組みを行い改善されています。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は職員全員で相談して、その内容を管理者がまとめて作成しています。また、外部評価については、実施する意義を十分理解し、前回の評価を活かして具体的な改善に取り組んでおり、評価結果は、運営推進会議や利用者家族に報告しています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	2ヵ月毎に実施されており、メンバーは利用者、家族、町内会長、包括支援センターの職員、知見を有する人、民生委員及び管理者・職員で構成され、行事の協力依頼や防火防災、避難訓練の取り組み方、医療連携、ホームの現状報告などについて感想や意見を貰いサービス向上に活かしています。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	毎月の「こうえい館便り」にて、行事や生活の様子、現金出納の記録を送付しており、来訪時にも日々の出来事、認知症状を含めた健康状態や暮らしぶりを報告しています。体調の変化がある際は随時、連絡や相談し、年に1回家族会の際に、スライド上映会を開催し生活ぶりを報告しています。家族の来訪時には、意見や要望を言い易い雰囲気作りで心掛け、出された意見を全員で話し合い結果は速やかに家族に報告しています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	町内会の行事や活動の花壇の花植え・盆踊り、廃品回収、町内清掃活動などに参加して地元の方々と交流されています。また、散歩の際の挨拶や交流、地域の喫茶店やお店などを積極的に利用するように努めています。地域に向けて認知症の研修会やキャラバンメイトの講師として地域に認知症を理解してもらう取り組みを行っています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	『ありのままを知り受け入れる、その人らしく生きる、喜びの実現』を基本理念として、利用者が、町内会の行事や活動に参加して、地域の中での役割ごとが出来ることによって自信や楽しみ、生きがいを持てるように支援している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念について、勉強会で理解が深まるよう取り組み、ホーム内の見やすい場所に掲示しており、職員は理念を記載したカードを携帯している。また、カンファレンスの際に理念を共有して、実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会の行事や活動の花壇の花植え・盆踊り、廃品回収、町内清掃活動などに参加して地元の方々と交流されている。また、散歩の際の挨拶や交流、近所の喫茶店やお店などを積極的に利用するように努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は職員全員で相談して、その内容を管理者がまとめて作成している。外部評価については、実施する意義を十分理解し、前回の評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。また、評価結果は運営推進会議や利用者家族に報告している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	2カ月毎に実施されており、メンバーは利用者、家族、町内会長、包括支援センターの職員、知見を有する人、民生委員及び管理者・職員で構成され、行事の協力依頼や防火防災、避難訓練の取り組み方、医療連携、ホームの現状報告などについて感想や意見を貰いサービス向上に活かしている。		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	管理者は市町村が主催している認知症の研修会の講師を行っており、市の講習会や勉強会にも積極的に参加して関わりを持っており、市と連携してサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を实践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	毎月の「こうえい館便り」にて、行事や生活の様子、現金出納の記録を送付している。来訪時には日々の出来事、認知症状を含めた健康状態や暮らしぶりを報告しており、体調の変化がある際は随時、連絡や相談している。また、年に1回家族会の際に、スライド上映会を開催し生活ぶりを報告している。		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	家族の来訪時には、意見や要望、不満を言い易い雰囲気作りに心掛けている。意見、要望があれば各ユニットでよく話し合い改善に向けて取り組んでおり、結果は速やかに報告している。また、ホームに苦情窓口を設け、外部の苦情窓口の案内をしている。		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	ユニット間や法人内の異動を極力控え、新任の職員には管理者が助言や相談しやすいように声を掛けるなどして、早く馴染んでもらえるよう取り組み、人的環境の変化に敏感で不安になりがちな利用者への配慮を特に気をつけて取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は管理者、職員が必要な外部の研修に積極的に参加できるように取り組んでおり、ホーム内での研修報告会も開催し、研修内容を職員間で共有している。また、ホームでも全職員で研修会や管理者へのコーチングの実践研修を実施して、段階に応じた研修や勉強会に取り組んでいる。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会での研修や勉強会での交流の他、地域包括支援センター主催のグループホームの職員を集めた事例検討会や交流会などにも積極的に参加しサービスの質を向上させていく取り組みをしている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前から数回、来館して頂き、ホームの雰囲気や利用者との関係に馴染んで貰えるように支援している。また、家族と相談して以前の生活に近づける様に馴染みの家具、ベットなどの配置を工夫している。部屋では、ゆったり過ごして頂ける様に馴染みの校歌、音楽などを聞いて頂いている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一人ひとりの生活歴を踏まえ、利用者と共に家事や生活全般、趣味において助け合い、協力しながら支援をしている。趣味の麻雀では利用者から習いながら打ったり、俳句では、職員がお題を出して、楽しそうに詠んで下さるなどして、一緒に過ごしながらか本人から学んだり、支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>バックグラウンドアセスメントの情報に時間をかけて、日々の観察から、その人らしい思いを感じ取るようにしており、職員同士が情報を共有し、カンファレンスの中で一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画はセンター方式をもとに作成されており、家族から情報収集しながら意見、希望、アイデアを取り入れ、利用者さんのありのままを受け入れ、ホームでその人らしい生活が送れるように職員全員で話し合い、それぞれの意見やアイデアが反映した介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員が中心となって、3ヵ月に一度介護計画が見直されている。日常の様子や会話の中で状態の変化を捉え、本人や家族と相談しながら随時、見直しを行い、現状に即した介護計画となっている。今後は利用者の家族、キーパーソンの方など高齢化が進んでいる為、包括支援センターとの係わりを密にして連携強化を図ろうとしている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、受診の送迎や気分転換に近隣の観光地へのドライブ、大型店への買い物などの外出を柔軟に支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医との連携やホームに往診に来て頂いている各病院の看護師と気軽に相談が出来る関係が築かれており、適切な医療が受けられるよう支援されている。また医療連携体制を取り、健康管理のアドバイスも受けている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族と重度化における対応について、主治医と相談し、本人・家族の要望に応えられるよう繰り返し話し合いが行われており、職員間でも共有されている。また、法人独自の『終末期の生活介護覚書』を家族と話し合い作成し、ホームが対応できる事を明確にして全員で方針を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの尊厳と誇りを損ねないような言葉かけや対応を心掛け、プライバシーや羞恥心の配慮にも注意して支援している。また、専門職としての倫理を大切にし、記録の扱いについても、十分に注意している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人が何を求めているかを観察し探りながらその人らしい生活を送れるように支援している。一人ひとりのペースや体調、希望に合わせて役割ごとや外出の支援をしている。食べたい物や食べる時間、晩酌なども本人のペースや希望を最優先にして支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は、栄養士の免許を持つ職員が食材品目を多く取り入れ栄養のバランスを考えて提供している。また、本人の体調や気分に合わせて献立を変えて柔軟に対応し、食事が楽しみなものになるように支援している。また、台所に立ち料理をする方や配膳下膳、食器拭きなど力量に応じて柔軟に支援している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	概ね入浴日や時間は決まっているが、その人の要望や生活歴、タイミングを見て気持ち良く、ゆっくりと楽しみながら入浴できるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ホーム内で役割としてタオルたたみ、茶碗拭き、洗たく物干しなど少しでもやって頂き、出来た事の喜びやホームでの存在感を持って頂けるように支援している。また、買い物やドライブなど一緒に出掛けて気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望に添って、生まれ育った家・兄弟の家・お墓・温泉や喫茶店など外出しており、行事での観光地へのドライブの他に利用者の気分や天候、状況に合わせて大型スーパーや公園への散歩などなるべく外出できるように支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、利用者の外出傾向も職員間で把握され、雪かきなどで戸外に出る時は、職員も一緒に行動し安全面で配慮されており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	管理者は、災害時高齢者生活支援講習を受講しており、ホームでは年3回の避難訓練を実施し、消防署員による避難方法の指導も受けている。また、運営推進会議でも地域の人々と災害時の事を話し合わせ、理解を広める取り組みもなされている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の好みや食べたい物を勘案して栄養士の資格を持つ職員が多くの食材品目を使い食事を提供している。水分量や食事摂取量はチェック表で管理し、水分が摂れていない場合は、ゼリー等に工夫して、水分を摂って頂けるように支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には懐かしい置物や活け花を飾ったり、共用空間の壁には季節ごとの行事の飾りや季節の花を飾り季節を感じられるように工夫している。音や光を嫌がる方がいるので、カーテンで光を調節し配慮している。また、利用者同士で思い思いに過ごせるように3か所にソファを置いて好きな所で座れるようにしている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、本人や家族と相談しながら家具寝具等馴染みのものを持ってきて頂き、自宅に近い環境作りを心掛け安心出来るように配慮しており、本人の思いや本人が居心地よく過ごせることを大切にしている。		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。